

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和 5年 3月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本Ⅱ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		児童の利用人数によっては適切なスペースの確保が難しいことがある。
	2	職員の配置数は適切である	6	2		利用者の人数に対して多かったり少なかったりすることはある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	7		玄関・洗面所に段差あり。職員が昇降時や靴着脱時は見守り・介助を行い転倒や転落に注意している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		帰宅後は消毒・清掃を行い、朝の受け入れ前にも清掃を実施している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4		毎月スタッフミーティングを開催し、目標設定及び振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	保護者のニーズに沿った支援が出来るように、こまめな聞き取りを行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	ホームページで公開している。	結らんど通信(紙媒体)でも公開するか検討中。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		今後は検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	4	全職員が年1回以上は研修に参加できるようにしている。	まだ研修の機会が少ないため、今後回数を増やしていけるようにする。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	2		計画書作成時や、必要に応じて細やかな聞き取りを行う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3		今後は標準化されたアセスメントシートツールを使用し評価していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2		地域支援を取り入れた計画書の作成が出来るよう、地域との繋がりが今後の課題とする。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	2		計画書に沿った支援が出来るように、職員間で見直しや話し合いをする機会を設けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	職員全員で活動計画を立てている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	ミーティング時に職員間で共有し、固定化しないようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		自由時間に個別の対応も行いながら、集団活動も取り入れた一日のスケジュールを作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝のミーティングで確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎朝のミーティングで確認・共有をしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		個別記録に記載し、職員間で共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		半年ごとにモニタリングを行っている。また、必要に応じて見直しもしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		管理者・児童発達支援管理責任者が対応している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	4		今後は連携した支援が出来るよう努める。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4		対象児童がいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	4		対象児童がいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		担当者会議等に参加し、情報共有をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	担当者会議等に参加し、情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5		研修への参加、及び専門機関との情報共有をする機会を今後増やしていく予定。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		コロナ禍により未実施
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7		コロナ禍により未実施
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	帰りの申し送り等で今日の状況を伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	6		ペアレントトレーニングについて研修を受講し、職員のスキルアップを図る必要がある。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	契約時や、必要に応じて説明を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	計画書作成後に保護者へ説明・確認をしたうえ、同意を得るようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	その都度対応している。もし直接保護者と対面出来ない場合でも、電話等で伝えるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		コロナ禍により未実施
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	その都度対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	事業所だよりにて活動内容等を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	1	写真等を掲載する際は、事前に保護者へ確認したうえで細心の注意を払うようにしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2	非言語的コミュニケーションも取り入れている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		コロナ禍により未実施
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	6		年1回以上、適宜行事予定に組み入れて各訓練を実施していくようにする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	5		年1回以上、行事予定に組んで訓練を実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	2	契約時に確認し、以降も気になる点があればその都度保護者に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	保護者からの情報をもとに対応している。	保護者情報に加え、医師から指示書を買えないか検討する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	4	ミーティングにて職員間で報告後、記録を残し改善に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	6	ミーティングにて話し合いを行い、その都度対応している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3	なるべく身体拘束を行わない形での支援を心掛けている。	対象児童がいない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表日 令和 5年 3月 31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本Ⅱ

保護者等数(児童数) 11 回収数 9 割合 81 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9					児童の利用人数によっては適切なスペースの確保が難しいことがあるため、その際は活動場所を2つに分けるようにしている。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	8	1				児童の利用人数に対して多かたり少なかりすることはあるが、最低限の人員配置は満たしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	9					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	9					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1		4		コロナ禍により、交流の機会を設けられなかったため、今後は増やしていく予定。
適切な 支援の 提	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	9					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	8			1		保護者のニーズを汲んだ計画書を作成し、保護者へ説明及び確認をしてもらうようにしている。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	5	2		2		ペアレントトレーニングは実施できていないが、相談や助言等は行っている。今後は取り組んでいく予定。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	2			丁寧に記入された連絡帳があり助かっています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	7	2				児童の申し送り時や、電話等での相談や助言は行っている。必要に応じて面談の機会も設けている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	4	3	1	コロナ禍なので仕方ない	今後はそのような機会を設けていく予定。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
供	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	9				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7	2			利用日のカレンダーや月間行事表などが分かりやすく助かっています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5	3		1	事務所だよりにて発信している。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	9				写真などは個人が特定されないようにし、書類等は直接保護者に渡している。
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	1		5	公共の場所がわからない。訓練の場所があったか否かを覚えていない。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3	1	1	5	年間の活動内容に組み込み、実践できるよう取り組んでいく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	8	1			とても楽しく過ごしています。見送るときに悲しい顔になることもあるので。
	23	事業所の支援に満足している	8	1			他に同じ月齢の子がいたらもっと楽しい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本Ⅱ

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			児童の利用人数によっては適切なスペースの確保が難しいことがある。
	2	職員の配置数は適切である	5	2			児童の人数に対し、職員が多かったり少なかったりすることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	4	階段昇降時の介助・付き添いを行っている。	玄関の上り框が高い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	2	毎月スタッフミーティングを開催している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		アンケート調査を実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	2	ホームページで公開している。	結らんど通信(紙媒体)の発行を検討している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	1		今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	3		研修の案内が来たときは、希望者が参加出来るように努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		計画書作成時、及び必要に応じて細やかな聞き取りを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1		アセスメントツールの再確認を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		毎月の行事計画を立てている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		ミーティング時に職員間で共有し、固定化しないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		休日や長期休暇の日は公園へ外出等の予定を入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	4		自由時間に個別の対応を行いながら、集団活動も取り入れた一日のスケジュールを作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3		朝のミーティングで確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	1	朝のミーティングで確認・共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	1	個別記録を取っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		モニタリング期間に合わせて、サービスの見直しを行っている。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	4	1		今後検討していく。

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		管理者・児童発達支援管理責任者で対応している。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1		送迎時に学校の先生と情報の共有・交換等を行っている。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	3		医療的ケアが必要な児童がいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		担当者会議等に参加し、情報共有を行っている。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	2		対象児童がいない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	2		専門機関と連携していけるよう努める。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			7		コロナ禍の為、実施出来ていない	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			4	3		コロナ禍のため参加出来なかったが、今後は参加できるよう体制を整えていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	2		送迎時の対話や連絡帳を用いて情報共有を行っている。		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	4		保護者へのペアレント・トレーニングは実施できていないが、相談や助言は行っている。今後は取り組んでいく予定。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3		契約時や、必要に応じて説明をしている。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3	1	その都度対応している。もし保護者と直接対面出来ない場合でも電話等で伝えるようにしている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	6		コロナ禍の為、実施出来ていない	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	3	1	その都度対応している。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	2	行事予定表を毎月発信している。		
	35	個人情報に十分注意している	6	1		写真などは個人が特定されないようにし、書類などは直接保護者に渡している。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		非言語的コミュニケーションからも読み取れるよう努めている。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	5		コロナ禍の為、実施出来ていない	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		5	2		紙媒体もしくはホームページで周知出来るように検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3	3		行事予定には入れているが、実施できていないことがある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		5	2		マニュアル等の確認、及びミーティングを行い、適切な対応を心掛けるようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	2	なるべく身体拘束を行わないよう な支援を心掛けている。	対象児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	保護者からの情報をもとに対応している。	保護者情報に加え、医師からの指示書も留意出来るように努める。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	2	4		連携ノートにて周知しているが、今後は事例集を作成し振り返り・対策を考える。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 5年 3月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本Ⅱ

保護者等数(児童数) 5(5) 回収数 5 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1			スロープや手すりが設置されていない場所があるため、必要な箇所には設置を検討する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2			コロナ禍により、交流の機会が作れなかったため、今後は増やしていく予定
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	2		以前は保護者会等を開催できていたものの、最近は出来ていなかったため、再開できるよう努める。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1			その都度対応しており、内容は職員間で確認・周知するようにしている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1		事務所だよりにて発信している。
14 個人情報に十分注意しているか	3					

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		2		契約時に説明しているが、必要に応じてその都度補足している。また、マニュアル等を作成し、児童にも分かりやすい内容となるように工夫・改善していく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	2		年間活動計画に訓練を組み込み、災害時のマニュアル等を作成する。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	4			
	18	事業所の支援に満足しているか	4			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。